

最近の調査から

みあらいざわいせき 身洗沢遺跡

現在、身洗沢遺跡（笛吹市八代町）の発掘調査を行っています。この調査は中央道の笛吹スマートインターチェンジ建設に伴って平成26年度から行って、平成27年度は中央自動車道の南側で実施しています。調査区の周辺には弥生時代後期～古墳時代前期（今から約1,800年前）の集落跡が確認されており、過去の調査で出土した弥生時代後期の木製品は県指定文化財となっています。

昨年度は中央自動車道の北側の調査を行い、弥生時代後期の土器や溝が確認されました。表面を赤く彩色した赤彩土器や、「櫛描波状文」と呼ばれる文様が描かれた土器が多く出土しました。今年度の調査は9月まで行う予定です。



赤彩土器

おおしいせき 大石遺跡

平成27年5月11日から一般国道20号（大月バイパス）改築工事に伴う埋蔵文化財の発掘調査が始まりました。

平成26年度からの継続事業で、平成28年1月末までの予定で発掘調査を行います。遺跡は大月市の南部、桂川とその支流である笹子川の両川に挟まれたJR中央線沿いの標高370m地点に位置します。周辺は近年まで水田として利用されており、造成時の平坦面と段差が存在する場所です。

昨年度の調査で、包含層から縄文時代早期末と弥生時代中期、奈良・平安時代の遺物が出土しています。

現在は、調査区を人力にて掘削・精査を行い、土層の堆積状況などを確認しながら調査を進めています。



発掘調査のようす

やむらじょう 谷村城

谷村城は、都留市の中心市街地に広がる遺跡です。平成26年度に引き続き、甲府地方裁判所都留支部の敷地内で発掘調査を実施しています。昨年度の調査では、江戸時代の「谷村陣屋」の頃や、その後の明治～大正期にかけての「谷村区裁判所」の頃、さらには遡って古代～中世の遺構や遺物もみられました。多くの生活面が存在することが分かっており、生活環境の変遷が分かる貴重な遺跡です。

平成27年度の調査では、新たに検出された溝状の遺構から、江戸時代後半期の遺物が良好な状態で出土しています。また県内では出土例が少ない一分金や二朱銀などの金銀貨が、江戸時代の生活面からみつかりました。



26号溝

所長所感

当センターは、山梨県教育委員会の埋蔵文化財に関する専門機関として昭和57年開所以来、三分の一世紀になりますが、この間に埋蔵文化財を取り巻く環境はずいぶん様変わりしてきました。以前は、公共事業の露払い役、悪く言えば「お邪魔虫」的でありましたが、近年では、過去の土地利用の痕跡を総合的に把握し、地域のアイデンティティの確立や土地に係るリスク解明などに貢献する場面が増えてきました。身の回りに「こんな遺跡がある」から進んで、そうした情報を下に次代をどう考えていくかが重要になってきているのです。

またこれまでに発見されてきた出土品も膨大な量

にのぼります。例えば山梨の縄文土器、数千年前の生活ツールですが、そこに見る造形エネルギーは強烈です。こうした歴史資産としての埋蔵文化財をこれからの社会にどう役立てていくか、といったことにもしっかりと取り組んでいきたいと考えています。

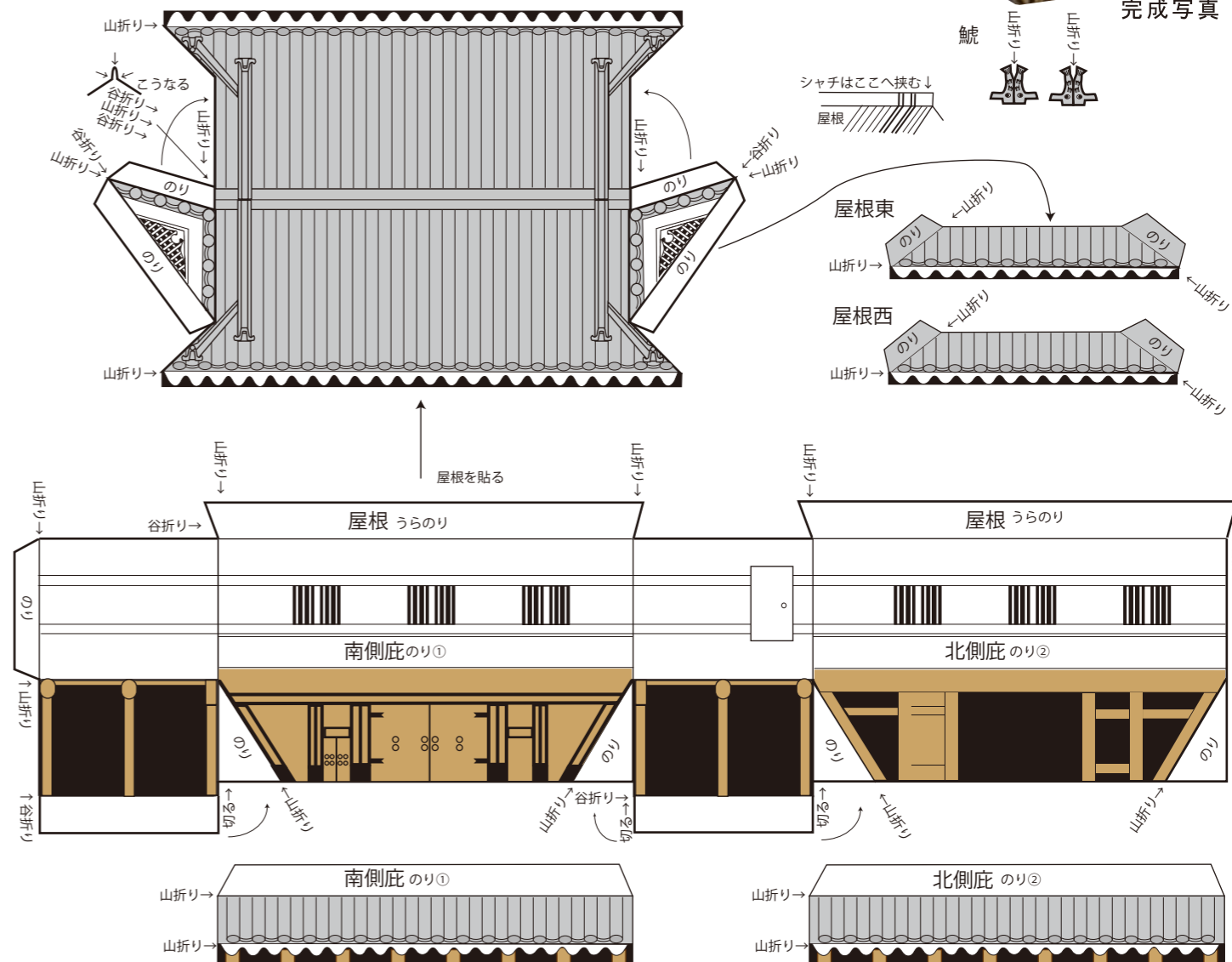


口径98cmの花鳥山遺跡出土縄文土器

みんなで作ろう!埋文クラフト 県指定史跡甲府城跡 建物シリーズI 鉄門 1/200



完成写真



☆HPでも掲載しています。
☆完成写真を送ってくださいね。

活用事業の報告

埋蔵文化財センターでは、発掘した埋蔵文化財を活用するための事業を行っています。各学校などの授業づくりのお手伝いを行う出前支援事業では、今年度も既に多数の学校にお伺いしています。また、考古資料活用のため、考古資料の貸出や講師派遣なども行っています。

平成27年6月までの実績は以下のとおりです。

出前支援事業

- ・火起こし体験 後屋敷小学校 玉穂南小学校 下吉田第一小学校 芦安中学校
- ・土器作り体験 田富南小学校 三村小学校 高根西小学校
- ・拓本体験 御坂東小学校

講師派遣事業

甲府歴史講座 県政出張講座 山梨英和大学 山梨県立大学

遺跡見学会

谷村城遺跡見学会 (6/14)



上:後屋敷小学校での出前支援事業のようす
下:英和大学での講師派遣のようす